

しらぬか 議会 だより

NO.149
2020. 7.22

- 2 令和2年第2回定例会概要
- 4 一般質問9名
- 13 議会の仕事調査隊
- 14 委員会・協議会の動き



たくさん本を読んでね
(ブックバッグづくりボランティアの皆さん)

2 年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 11 億 9751 万円

●増額

新型コロナウイルス感染症対策関連	904,857,000 円
栄橋通り改良舗装工事関連	150,500,000 円
西庶路寿の家改築工事関連	41,037,000 円
自然公園改修実施設計業務	39,000,000 円
交通対策関連	9,810,000 円
坂の丘公苑墓地樹木葬墓所等造成実施設計業務	5,000,000 円
地域おこし協力隊員関連	3,596,000 円
各種補助金	34,131,000 円
繰出金	7,806,000 円
その他	1,773,000 円

質疑・答弁

問 緊急経済対策の応援券、換金されて飲食店に現金が渡るまでの期間は。

答 当初、商工会と月 2 回で調整したが、今は 10 日、20 日、30 日の月 3 回としている。

問 このコロナ禍で、特に商工業者は甚大な影響を受けていると思うが、どの程度の売り上げ減等になっているのか。

答 商工業者は 3 月から 5 月までの累計で、2 億 2227 万円の影響額が出ている。

問 現時点での給付金 10 万円の給付状況と、申請書していない人への対応は。

答 6 月 5 日までに申請書が到着し、振り込みが完了した件数は 3,997 世帯、未申請は 93 世帯。未申請の方には広報等での周知、個別の周知も含めて検討する。

問 漁船操業機器購入補助金は、どのように希望者に助成するのか。

答 白糠漁業協同組合が、要望額調査等で取りまとめをしている。

問 坂の丘墓地の合葬墓と樹木葬、道内で取り組んでいる町村があるが、調査はしたか。

答 釧路の北斗霊園、陵墓公苑の 2 カ所と札幌近郊のばらと霊園、滝野霊園。インターネット等で道外の樹木葬などもいろいろと参考にしている。

第 2 回 定例会

6 月
9 日

- ・行政報告・町政執行方針・一般質問
- ・発議（議会関係条例等の改正）

6 月
10 日

- ・専決処分の承認・条例改正
- ・令和 2 年度補正予算
- ・工事委託業務に関する協定の締結
- ・工事負契約の締結
- ・農業委員会委員の任命

元年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 2 億 228 万 4 千円

●増額

まちづくり基金等	665,703,000 円
町道除雪業務	14,910,000 円
北海道市町村備荒資金組合納付金	500,000,000 円

●減額

ふるさと納税関連	933,900,000 円
情報管理費	22,960,000 円
釧路白糠工業用水道企業団負担金	16,412,000 円
繰出金	4,929,000 円
一時借入金利子	128,000 円

質疑・答弁

問 ふるさと納税の賃金と報償費が減額になった要因は。また、北海道での寄付額の順位は。

答 超過勤務と配送費が節約できたことによる減額。寄付額の順位は、7 月から 8 月に総務省から公表されるが、道内で 3 番目か 4 番目と思われる。

農業委員の任命

本年7月19日に任期満了を迎える農業委員について、次期委員9名の任命を同意した。

- 石田正義（再任、町議会議員等）
- 酒井伸吾（再任、スポーツ推進委員等）
- 澁谷幸子（再任、民生委員児童委員等）
- 田代幸男（新任）
- 對木範誉（再任）
- 中河敏史（再任、町議会議員等）
- 林 善幸（再任、都市計画審議会委員等）
- 松田浩二（新任）
- 峯田弘子（再任、民生委員児童委員等）

※氏名の順番は50音順

※（ ）内は主な経歴等



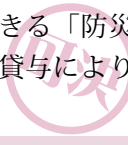
財産の取得

防災行政無線戸別受信機

防災情報を屋内に伝達することができる「防災行政無線戸別受信機」を購入し、無償貸与により町内全戸に整備する。

問 入札参加者名は。

答 北電工業(株)、サンエス電気通信(株)、(株)新橋機電の3社。



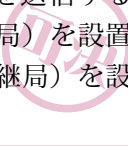
契約の締結

防災行政無線整備工事

「防災行政無線戸別受信機」に電波を送信する設備として、役場に無線の統制局（親局）を設置し、白糠、庶路の両地区に送信局（中継局）を設置する。

問 中継局2か所の海拔は。

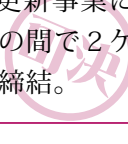
答 庶路地区は、庶路共同墓地で海拔56.3㍍。
白糠地区は、和天別1805番地で海拔263㍍。



協定の締結

公共下水道白糠下水道管理センター設備更新事業

「白糠下水道管理センター」の設備更新事業について、日本下水道事業団と白糠町との間で2ヶ年の「工事委託業務に関する協定」を締結。



条例等

一部改正・制定

- 議会改革・活性化特別委員会での白糠町議会関係例規の検証と見直しによる改正
 - ・白糠町議会基本条例
 - ・白糠町議会会議規則
 - ・白糠町議会委員会条例
- 地方税法の改正に伴う改正
 - ・町税条例（2件）
 - ・白糠町国民健康保険税条例
- 情報通信技術の活用による行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の改正に伴う改正
 - ・固定資産評価審査委員会条例
 - ・白糠町手数料条例
- 新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等へ傷病手当金を支給するための条例改正
 - ・白糠町国民健康保険条例
 - ・白糠町後期高齢者医療に関する条例
- 資源ごみの20リットル指定容器の追加に伴い、資源ごみ袋の代金を設定するための改正
 - ・白糠町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴う改正
 - ・白糠町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 介護保険法の一部改正並びに新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴う改正
 - ・白糠町介護保険条例
- 入居資格を緩和し、若年単身者の入居を可能にするための改正
 - ・白糠町営住宅管理条例



行政報告

「土俵プロジェクト事業」の開催延期について

本年6月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症のこの先の状況が読めないことから、開催時期を未定として延期する事が報告された。

問い合わせ 提案する

一般質問

※議員9名が20件30項目について質問しました。
※一般質問は1人90分以内で、町長・教育長にたいして広く町政に関する説明を求めます。

石田 正義 議員・・・・・・・・・・5ページ

- 1 町道の整備について
- 2 通学路の整備について

坂本 勝雄 議員・・・・・・・・・・6ページ

- 1 老朽化が進んだ空き家対策について
- 2 高齢者に対するごみ出しの支援について

山吉 公德 議員・・・・・・・・・・7ページ

- 1 埋葬施設の整備について
- 2 SEA（スポーツ国際交流員）について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・8ページ

- 1 産業の再興と振興について
- 2 介護について
- 3 インフラストラクチャーの整備について
- 4 茶路へき地保育園を茶路小中学校に併設しては

澤原 孝行 議員・・・・・・・・・・9ページ

- 1 旧ポコロモシリのチセの取り扱いについて

中村 仁志 議員・・・・・・・・・・10ページ

- 1 庶路支所改築計画について

鎌田 民子 議員・・・・・・・・・・11ページ

- 1 防疫計画の見直し補強と災害時の感染予防対策の強化について
- 2 学校再開後の児童生徒の学習の保障と心のケアについて

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・12ページ

- 1 まちづくりの総仕上げについて
- 2 人口減少対策について
- 3 排温水の活用について

立石 巧 議員・・・・・・・・・・13ページ

- 1 地域材の活用について
- 2 運転免許証の返納について
- 3 小中学校におけるいじめの実態について



石田 正義 議員

問 町道整備について

答 老朽化が著しい箇所を優先的に補修整備する

問 新縫別の町道は、大雨や雪どけ時期など通行が困難な状況である。対策が必要と思うが考え方を伺う。

答 本路線の終点部には茶路簡易水道の浄水場があり、地域の重要な路線でもある。日常のパトロールに加え、降雨後や雪どけ時期はパトロール回数を増やし、状況を確認して対応している。

対策としては、路盤改良、舗装及び排水整備を実施しなければならぬが、多額になる事業費に国の補助制度などを活用できるよう事業要望を検討していく考えである。

問 今まで事業費の補助制度など検討はなかったのか、これまでの経過を伺う。

答 縫別町道は行き止まりであることから補助制度の優先順位は低いですが、今実施している振内線の進捗状況をみながら検討をしていく。

問 この路線は、小学生が通学している。雨が降るとスクールバスが行けなくなる。全部は無理でも、5、6百メートルの間、整備できないか。

答 国や道にそのような話はしており、総合計画策定の時点で縫別川沿整備舗装事業を提示している。振内線改良工事の進捗状況を見ながら要望していく。各省庁の補助制度などを模索しながら早期着手できるように検討する。

問 歩道の水溜り、段差など、補修すべきと思う。

答 毎年40箇所程度の補修対応をしている。道路パトロール中の点検結果を基に、通学路、公共施設利用で通行が多く、老朽化の著しい箇所を優先的に補修、整備することになっている。

問 歩道に水溜りがあると歩行者は、それをさけて車道に出る。交通安全上問題である。高齢者や子どもたちが安全に歩けるよう対策を伺う。

答 昨年からは歩道の点検を実施し補修を行っている。



通学路歩道の水たまり

問 通学路の整備について

答 啓発看板の設置等により事故防止に努める

問 庶路学園駐車場横の坂道は、冬期間、除雪をして塩カルを散布するなどの対応をしている。

るようだが、通行が危険との声がある。考え方を伺う。

答 融雪剤や碎石を散布し、通学路の防滑対策をしてきた。形態を階段等に変えることは、除雪作業に支障がある上、相当額の工事費が必要となる。現状を維持しつつ、児童生徒、来校者の安全確保を第一に考え、一層の注意喚起を図る。啓発看板の設置等を行い事故防止に努めていく。

問 子どもたちが安全に通える通学路でなければならぬ。また、庶路学園は災害時避難場所ともなっている。

答 安全な通学路として、また防災拠点の重要性も考え今後対応していきたい。





坂本 勝雄 議員

問 老朽化が進んだ空き家対策について

答 消防などの協力を得て最低限の安全対策を実施している

問 老朽化が進んだ空き家は、風や地震による倒壊、放火などの危険性とともに、内部に残された物やごみが原因となつて、悪臭、ネズミが発生するなど、近隣住民に不安と悪影響を及ぼす心配がある。対策が必要と思うが考えを伺う。

答 個人の財産の問題であるので、所有者に適正な維持管理を行っていただくことが原則である。適正な管理が行われていない空き家が、防災、防犯、衛生、景観など、地域住民の生活環境に悪影響を及ぼしており、高齢化社会を迎え、今後増加する大きな社会問題であると認識している。対応としては、町内会、地域住民からの情報提供により現地を確認し、所有者に連絡をと

り、保全・解体のお願いをしているが、費用負担や相続などの課題により進まないケースもある。特に危険と判断される空き家は、消防などの協力を得て安全対策を施すなどの対応をしている。

問 行政は個人財産ということで対策が及び腰なところがある。周辺住民の生活を考えると、行政執行等強力な指導勧告が必要と考えるが伺う。

答 空き家といっても個人財産であるので、慎重な対応が必要で、所有者が適切に管理するように勧めていく。老朽化が進んだ空き家の取り壊しへの一部助成も検討する。



崩れかけた空き家

問 高齢者に対するごみ出しの支援について

答 支援が必要な方には公助、共助で、地域とともに支援していきたい

問 高齢者になると、物を持つて移動することが難しくなり、ごみ出しが負担となつてごみだままつていき、やがてごみ屋敷になってしまう心配がある。周囲にも迷惑が及ぶことから、高齢者のごみ出しへの支援が必要と思うが伺う。

答 高齢者のごみ出しを負担と感じる要因として、ごみステーションまでの距離が遠い、ステーションの蓋が重く開けにくいなどの意見がある。これまでどおり自主的にごみ出しを行っていただき、支援が必要な方には公助、共助で地域とともに支援していきたいと考えている。

問 ごみ出しが困難な状況にある高齢者や障がい者などの世

帯に対して、総務省は市町村が行うごみ出し支援事業を特別交付税の対象に加えている。当町も制度化する必要があると思うが伺う。

答 ごみ出しが負担であるという高齢者について38名ほど把握している。生活支援制度の中でサポートしている。それ以外にごみ出しができないとの相談は受けていないので、現時点では補助の制度を創設する考えはない。





山吉 公德 議員

問 樹木墓地構想は

答 安心できる墓地公苑として計画している

問 埋葬施設の整備は、昨年の執行方針でも、今回の町長選挙公約でも掲げられている。少子高齢化や核家族化で、葬送のあり方、お墓の守り方も大きく変わってきており、家族墓地、合同墓地、樹木墓地、あるいは散骨などあるが、施設計画は。

答 現時点では630平方メートルの敷地に、樹木墓所10区画を1基とし、18基で計180区画、合葬墓1基、500体程度を計画している。町が整備し将来的にも維持管理をする。令和3年7月供用開始を目指す。

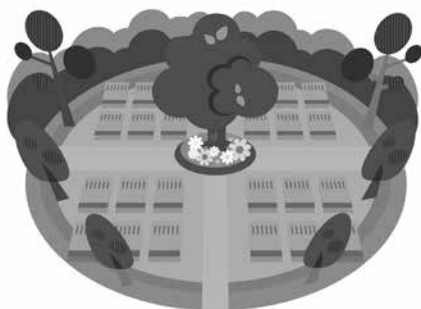
問 整備が済んでいる区画の全体数と現在使用されている区画について伺う。

答 全体の区画は2014区画、

使用が1875区画。

問 墓じまいした人の数、あるいは相談された方はいるか。

答 この3年間で35件、年々増えていく。相談は受けているが人数はおさえていない。



問 招聘の成果は

答 技術は確実に向上している

問 競技スポーツの向上を図るため、昨年インドネシア出身のマデ・チャンドラさんを招聘した。チャンドラさんの競技経歴や指導の手腕は、目を見張るものがあると聞いている。一朝一夕に技術が向上するものではないが、いまの段階での指導の成果と可能性について伺う。

答 スポーツ国際交流員として、小学校・中学校・高校の練習を中心に指導している。また、大会にベンチコーチとして同行している。白糠中学校バドミントン部が全道中学新人戦釧路地区予選会男子の部で団体、シングル、ダブルスの3部門において優勝を果たし、全道大会出場の栄冠を手にした。着実に子どもたちの技術力は向上している。今後、白糠町から全国で活躍する選手が誕生する可能性も高い。こ

れからは町民を対象とした教室を開き、国際交流を図っていくよう取り進める。

問 幅広く活動しているようだが、指導している生徒数と継続性は。

答 スポーツ少年団10名、中学生14名、高校生3名。続ける生徒が多い。

問 最近では日本の技術力もアップしている。日本人の方を招聘してはどうか。

答 よく協議していきたい。





中河 敏史 議員

問 農業の再興と振興の今日までの成果は

答 独自の施策も交え農業振興に務めてきた

問 町長は第1次産業の再興と振興を掲げてきたが今日までの成果は。

答 国や道の支援事業などを活用するとともに本町独自の施策も交え農業の振興に努めてきた。酪農については、国の中山間地域等直接支払制度と多面的機能支払交付金の活用により、所得補償をはじめ、地域が抱える課題解決に向け

た取り組みを進めてきた。TMRセンター建設には町独自の支援を行い、酪農家4戸が法人を設立し規模拡大を図る㈱M&Sに対しては、畜産クラスター事業推進補助金として町独自の支援を行っていく。野菜生産の振興では、白糠町野菜生産組合等の既存農家をはじめ、異業種参入や町外からの新規就農者にも支援してきた。今後とも効率的に推進していく。

問 今後の農業の再興と振興をどのように進めるのか。

答 畜産や野菜生産など、将来的に持続可能な農業経営に向けて、規模拡大や時代に即した取り組みにチャレンジされる方を支援していく。

問 介護の公的サービスの限界があり町の支援が必要

答 支援のためのアンケート調査中

問 3月の定例会にて、介護について深刻な問題があること

が分かった。公的な介護サービスには限界があり更なる助成が必要である。

答 公的な介護サービス以外の支援として、介護者の経済的負担を軽減のため、介護を要する者が使用する「紙おむつ等排泄用品」用のごみ袋104枚、1万1440円を支給している。更なる助成は、現在要介護3以上の在宅の方を対象に「介護支援のためのアンケート調査」を実施しており、結果を踏まえたうえで前向きに検討していく。

問 インフラストラクチャーの整備を急ぐべき

答 優先度を考慮し取り組む

問 わが町の道路網は必ずしも整備されているとは言えない。年次計画はあるが、急ぐ必要がある。

答 町道の舗装は、市街地101キロメートル(87%)、郊外で96キロメートル(42%)

であり、全体で58%となっており。第8次総合計画期間内には62%まで舗装整備を完了させるよう進めている。

問 今回の新型コロナウイルス感染症の拡大により外出自粛の要請があり、学校も休校となったが、オンラインによる授業が行われつつある。わが町の児童生徒数を考慮すると通信環境を整備することは可能と思われるが。

答 光回線の環境が和天別地域、茶路地域、庶路地域で未整備のエリアがある。国は今年度から「AI・IoT時代」の情報通信技術の基盤となる5Gの普及展開に向け、自治体などへの財政支援措置を拡充し、山間部などの高速通信網未普及地域への対策に力を入れ始め、今後のまちづくりの推進力として「ICT(情報通信技術)の活用」を掲げている。全国的に教育現場での早急な「オンライン授業」の体制整備が求められているが、高速通信網を町内全域に整備し、農業をはじめとする地域産業や防災などの分野に

において「ICT」を効果的に活用していくことは、今後のまちづくりに欠かせない。現在、町では光回線未整備地区の解消に向け、関係機関と協議を進めており、今年度中にその実施に向けた方向性を取りまとめ、可及的速やかに事業化に向け取り組むこととしている。

問 茶路へき地保育園を茶路小中学校に併設できないか

答 併設は難しい

問 市街地のこども園は学校に併設されている。茶路へき地保育園も茶路小中学校に併設できないか。

答 茶路へき地保育園は、町が特例的に設置している認可外保育施設として茶路生活改善センター内に設置運営している。これまでも保育環境と将来の入園児の減少を考慮し、茶路小中学校内への移転について教育委員会と協議を続けてきたが、学校施設の構造やスペースの問題があり難しい。



澤原 孝行 議員

問 旧ポコロモシリのチセの取り扱いについて

答 映画制作の動向を注視しながら、最終的な判断をした

問 旧ポコロモシリのチセを、今後どのように取り扱うのか

答 旧ポコロモシリのチセについては、施設を解体するか、有効活用するか検討してきた。本年2月、本町を撮影拠点として、アイヌ民族をテーマとした映画制作が行われることが決まったことから、旧ポコロモシリのチセが、この映画撮影における美術セットなどとして活用が可能ということになれば、積極的に協力していく考えである。

当面の間は、映画制作の動向や進行状況を注視し、最終的な判断をしたいと考えている。



旧ポコロモシリのチセ



中村 仁志 議員

問 庶路支所改築計画は

答 本年度検討する

問 現在の庶路支所は昭和58年の開設からすでに築37年が経過しているが、かなり老朽化が目立っている。今後の改築計画について伺う。

答 庶路支所事務室及び併設している付属集會室は、これまでも状況に応じ補修、修繕等を行ってきた。

しかし、現在、老朽化により一部のドアや窓の開閉等に支障をきたしており、部分的改修では施設の長期的な維持管理が困難な状況であることから、白糠町公共施設等整備に関する協議の中で、本年度、改築等について検討することにした。

今後は将来に向けての庶路支所の機能や付属施設の在り方、立地場所等の現況を考慮し、住民サービスの低下を招くことがないよう、地域の意見等も聞いて検討していく。



庶路支所



鎌田 民子 議員

問 防疫計画は新型コロナウイルスに対応した修正が必要

答 国、道の上位計画の修正に合わせて修正する

問 新型コロナウイルスなどの感染症予防を強化するため防疫計画（地域防災計画の第5章11節）の追加、補強が必要と思うが伺う。

答 北海道の指針に基づき、避難所に準備しなければならぬ備蓄品9品目の整備について、補正予算を上程した。新型コロナウイルス対策に対しての記述も国、道の上位計画の修正に合わせて修正していく。

答 現地連絡員として職員が28箇所の避難所開設準備、運営にあたる避難施設では、
・2メートル程度の避難者間の距離をとる。

・避難者の健康管理を行う。
・体調不良の方に別スペースを確保する。
・衛生管理の徹底を図る。
など、感染症の拡大防止対策を取り進める。

問 2メートル程度の距離を確保するとなつているが、これまでより多く開設することになる。学校の場合、体育館だけでなく、教室も使うことができると思うがどうか。

答 教室については、使用できない教室もあり、余裕教室の活用も含めて、管理者と相談しながら、必要になった場合は活用したい。

問 児童生徒の学習の保障と心のケアについて

答 状況を的確に把握し、教育相談を実施する

問 長期間休校状態が続いたが、分散登校を経て、学校再開を判断した基準は何か。また、正常な学校運営の見通しについて伺う。

いて伺う。

答 白糠町内に罹患者がなく、各校で十分な衛生管理ができているなど、町内状況を総合的に判断し決断した。学校行事の精選・内容の見直しなど教育課程の改善について各校に準備を要請している。

問 すべての子どもたちと教職員にマスク等、感染を防ぐ手立て、十分なスペースを取った教室環境は万全か。

答 文部科学省からの指針に基づき、学校としてできる限りの感染予防対策を行っている。

問 心のケアを含め、子どもたちや保護者が相談できる体制を整える必要があるが伺う。

答 学級担任や養護教諭等を中心とした、きめ細やかな観察や声かけなどを行い、児童生徒の状況を的確に把握し、個々に応じた教育相談を実施する。必要に応じてスクールカウンセラーなどによる教育相談、国や道の相談窓口を紹介するなど、心のケアに努める

るよう各校に指示した。
問 教育活動の空白の時間があつたが、そのような環境なかでも行き届いた教育について、どのような手立てを考えているのか伺う。

答 更なる臨時休業措置が取られた場合に備え、児童生徒の学びの保障として、年間指導計画の改編、課題等の準備、授業時間の確保、全教職員がICT機器に関する研修を行いオンライン授業実施のための体制を整備していく。

問 保護者が安心して働くことができるよう場合によっては学校開放等の措置も必要と思うが伺う。

答 学校開放の措置は考えていない。教職員も「3蜜」を防ぐため在宅でのテレワーク等を実施せざるを得ない。児童生徒を少数で指導することは厳しい状況。子どもだけを家に残して働きに行かなければならない保護者の立場を考え、これまで取り組んできた分散登校の再実施を考えている。



福地 裕行 議員

問 まちづくりの総仕上げは

答 住民の視点に立ち着実に進める

問 極端な人口減少こそ永きに亘る町政の全てを物語るが、この5年間の創生総合戦略だけを検証しても、創生どころか崩壊の方が早い様相である。

答 人口規模と時代に合ったまちづくりを常に意識し、住民の視点に立った様々な取り組みを着実に進めてきた。

問 第1次産業をみても逆に衰退しているし、また、まちの実態の一つの目安である生活保護率（3・90）は、10振興局管内の町村ではダントツである。

答 第1次産業の所得を上げることを目指し、取り組んできた。

問 先ずは第1次産業の活況こそ求められるが、展望は。

答 転換期を迎えている産業全般の潮流を見極め、積極的なチャレンジには最大限の支援をする。

問 全般の衰退がまちの疲弊につながっている今、リーダーシップの発揮こそが求められるし、また、既存の農業者を守る手立てを急いで講じなければならぬ。

答 守るものはしっかり守り、積極的に仕向け、意欲に報いる支援策を強力に進める。

問 産出額をみても24年前より下がっている実態を先ず直視しなければならぬ。

答 産業界とも連携し、しっかりと取り組む。

問 取り返しのつかない人口減少

答 より一層、積極的に取り組む

問 この24年間で37%、4,500人程の減少は、北海道の中でも突出しているが、交

流人口、関係人口の増による賑わいの創出のためにも空き地・空き家を活用すべきである。

答 空き家バンク事業でホームページ掲載151件中、空き家26件、店舗5件、アパート賃貸25件、空き地8件の成約また転入者39名など実績は上がっているが、より一層積極的に取り組む。

問 都合の良い数字だけを聴くと納得するかも知れないが、全体の定住人口が減るから人口減になっている。

答 目を見張るものが何もないまちだが、魅力がなければリーダーにもなり得ない。何はなくとももうおのいのあるまちにしたいが、一例を上げれば、町費を投入し、花壇づくりにまちあげて取り組めないか。

答 思いは同じである。ようやく新たなまちづくりができる状況になってきたので、思いきった施策を打っていきいたい。具体的な助言などをいただければありがたい。

問 排温水を活かす事業を

答 トマト栽培の見通し

問 (株)神戸物産白糠バイオマス発電所は、順調に稼働しているが、毎日大量に排出される温水をただ垂れ流し捨てるのはいかにも勿体ない。以前の答弁では令和元年度中に方向性を出すとのことだったが、その進捗はどうか。

答 トマトの水耕栽培を中心に検討を進めており、令和3年度からの事業展開を予定しているようだ。新たな産業と雇用の創出につながるので、早期の事業実施に向けて事業者と連携を図っていく。





立石 巧 議員

問 地域材の需要拡大は、森林の適正な整備・保全につながり、林産業の活性化や温暖化防止などへの貢献が期待される。校舎統合改修については、平成24年度に策定された「地域材利用促進方針」に基づき校舎には出来る限り地元で加工・製造される資材を取り入れるよう努めていきたい。

問 返納の促進を図る

答 利便性が肝心

問 高齢ドライバーによる交通事故が多発している。本町であまり聞くことは無いが、先日、警察による出張相談会が開かれ免許証返納の説明と手続きが行われた。その内容と成果、併わせて返納者の要望などはあったのか。

問 今年度の施策にもあるが、茶路川の氾濫の危険性も高まってきていることから、小学校を中学校へ統合すべく実施設計しているが、建設される建造物に多くの地域材（カラマツ）を活用してはどうか。

答 昨年12月13日、釧路警察署と町が共催で「運転免許自主返納相談会」を開催した。
 ・免許返納に係る個別相談10件
 ・返納申請の受理5件
 ・運転経歴証明書の発行手続

き4件
 ・交通安全の啓発、町営バス利用方法の周知
 が行われ、今後も地元で開催してほしい、返納後には公共交通での移動が必要となるので、その助成を考えてもらいたいとの要望があった。

問 色々要望があったと思われるが、担当としては、要望にどう答えていくのか伺う。

答 移動する手段の確保の部分では、返納者に対する現行の支援制度である「生き活きしらぬか外出支援助成事業」と併せ、公共交通ではどのような割引制度が構築できるか整理していきたい。

問 いじめの実態は

答 いじめ未然防止に向けた取り組み

問 現時点におけるいじめの実態を伺う。

答 小学校では、昨年1年間で認知しているもの78件。中学

校では30件となっている。そのほとんどは、「冷やかかし」や「からかい」である。全ての学校では「学校いじめ対策組織」で対応し、「いじめ対処プラン」に基づいて実態を調査し、いじめを受けた生徒の相談と心のケアを行い、加害者となった生徒への指導を行っている。

答 保護者の認識は足りないとおさえている。学校を通じてスクールカウンセラーの活用充実を図っていく。また、保護者も気軽に利用できるような体制を今後構築したいと考えている。

問 本町で配置しているスクールカウンセラーの今後の有効活用が重要になってくると思われるが、これまでのスクールカウンセラーの成果を伺う。

問 学校現場でのいじめや虐待に対応するため、文部科学省では「スクールロイヤー」と呼ばれる専門の弁護士を全国に配置する方針である。「スクールロイヤー」の役割と本町での活用事例はあるか。

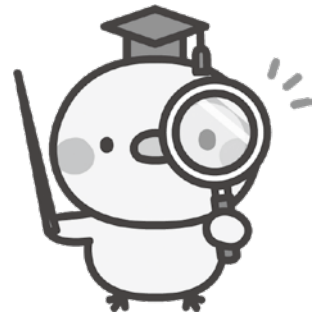
答 昨年度、心の悩み、いじめにつながるような質問などの相談があった。今後、スクールカウンセラーは、中学校だけでなく小学校でも活用していきたい。

問 スクールカウンセラーといたった取り組みは、まだまだ浸透していないようだが、保護者への周知を徹底してみているかどうか。また、相談がある場合に申し込み方法で躊躇し、諦める事がないよう相談しやすい体制づくりの配慮が必要

答 国は「スクールロイヤー」を全国に300人を配置する方針。役割は、学校の法的問題の解決で、弁護士が保護者によるクレーム対応、いじめや虐待など、教育現場において教職員では解決できない問題を、法的観点から支援する。今のところ本町への配置ない。配置された場合には効果的な活用を検討していく。

～聞きたい・知りたい

議会の仕事～



議会の仕事調査隊

町議会ってどんなところ？

役場3階の白糖町議会の議場や委員会室をご紹介します。

議場

本会議（定例会・臨時会）を行う場所が「議場」です。議場は議会活動の中心となる場所です。

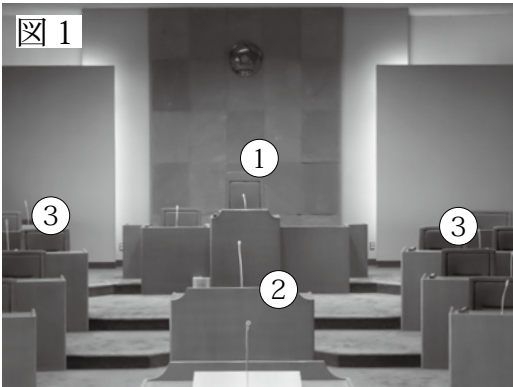
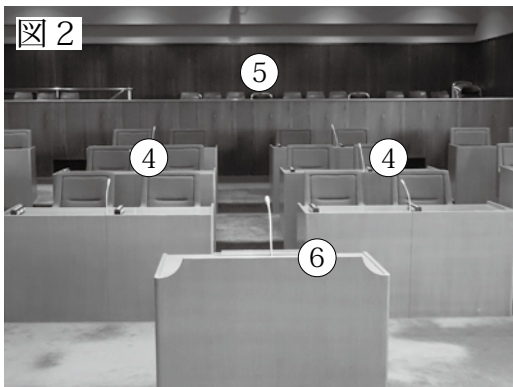


図1は、傍聴席から見た様子です。
①中央には「議長席」があります。
②議長席の前方には、各種報

告や提案理由の説明などを行う「演台」があります。
③演台の左右には、町長を始め、町の職員が着席します。

図2は、議長席側から見た様子です。
④は「議員席」です。
⑤の「傍聴席」から、会議の様子をご覧いただけます。
⑥議員席前の「発言席」では、一般質問が行われます。



委員会室

委員会室は2つあり、仕事を外すことで1つにできます。

主に常任委員会・特別委員会・議会運営委員会のほか、全員協議会などが行われます。左の写真は、委員会室での全員協議会の様子。

委員会室では、議会運営の協議や所管事務調査などを行います。



▶委員会室

議会を傍聴しよう

白糖町議会では、本会議のほかにも常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・全員協議会も公開しています。

【議場（本会議場）】
傍聴席入り口で住所・氏名などを記入のうえお入りください。

傍聴は会議当日の先着順です。入りきれない場合は、役場1階ロビーのテレビでご覧ください。なお、携帯電話、カメラ、録音機は使用をご遠慮ください。（電源をお切りください）



▲傍聴席入り口

【委員会室】
委員会室入り口で住所・氏名を記入の上、入室してください。傍聴は会議当日の先着順です。なお、携帯電話、カメラ、録音機は使用をご遠慮ください。（電源をお切りください）

委員会

協議会の活動

内容：①防災・減災に関すること
②白糠高校魅力化に関すること

実施日：5月22日、7月2日

総務文教常任委員会
所管事務調査

●防災・減災に関すること

○海岸地域の津波避難対策（避難施設）及び津波避難計画について

現在の津波避難計画は、平成26年4月に策定し、修正中である。また、地域における避難計画については、各町内会へ参考となるひな形を送付しており、災害弱者への可能な範囲での避難支援は、町の防災担当などのアドバイスを受けながら、地域で計画を策定することが大事。

○千島海溝沿いの巨大地震による津波想定について

令和2年4月21日に公表された道東沖の千島海溝沿いの巨大地震による津波の想定では、白糠町は17.9m、第1波到達時間が35分となっている。

平成24年に北海道が公表したシミュレーションと今回公表された津波の高さを比較すると、道東方面は北海道の予測より低くなっている。

今後の動きは、北海道が4月22日に組成したワーキンググループにより津波浸水想定が設定され、減災

目標策定後に北海道から白糠町に対して「津波災害警戒区域」の指定・公示が行われ、白糠町が「津波防災推進計画」を作成し公表することとなる。

【質疑】

問避難所までの坂道、高齢者が上りやすくロープなどを設置できないか。

答冬期間なども使用できるよう設置をした場合、維持管理が難しい。

問駅前広場整備の中で避難タワーを含めて、どう考えるのか。

答現在基本構想を策定する中で、実現可能、不可能にかかわらず提案した。一時的避難施設として、高層の建物が市街地には必要という考えである。



●白糠高校魅力化に関すること

○給食無償提供について

白糠中学校の改修に伴う、白糠高校の校舎一時使用について道教育庁と協議を進めている。本年1月、給食搬入口整備に対する支援等の要請とともに、高校の魅力化、保護者負担の軽減を目的として、高校生への学校給食無償提供を提案した。道教育長からは、白糠高校の魅力化にもつながるものであると、実施に向けて前向きな回答をいただいたことから。令和3年4月より、白糠高校の生徒に対して学校給食の無償提供を実施する。

【質疑】

問教職員への給食の配食は。

答教職員にはまだ希望は取っていないが、教職員分も配食し、給食費を徴収する考えである。

問搬入口は整備できるのか。

答搬入口の整備は、道教育庁の負担で整備する協議が整っている。



内 容：緊急事態宣言に伴う新型コロナウイルス感染症の
今後の対策について

全 員 協 議 会

実施日：4月22日

①公共施設（学校、こども園、児童館等）の対応について

町内の小中学校及び義務教育学校は、4月20日から5月6日まで再度の臨時休業とし、各学校の部活動、少年団活動も休止している。道立の白糠高校、白糠養護学校も同様の取り扱い。休止対象外施設は、各児童館、各こども園、茶路へき地保育園、子ども発達支援センター、温浴施設「しらぬかの湯」で、それ以外の施設は、5月6日まで休止するとの説明を受けた。

②「元気!!しらぬか応援券」の発送の延期について

4月20日から順次発送し、4月27日から6月30日まで使用していただく予定であったが、現在の状況を鑑み、配布時期を延期する。国、北海道、町内の状況等を把握し、商工会とも協議して発送の時期を見極め、使用期間も延長するとの説明を受けた。



内 容：特別定額給付金（10万円）について
子育て世帯への臨時特別給付金について

全 員 協 議 会

実施日：4月27日

○特別定額給付金（10万円）について

給付対象者、給付額、申請及び給付方法、事業費について説明を受けた。

○子育て世帯への臨時特別給付金について

給付対象児童、給付額、申請及び給付方法、事業費について説明を受けた。

内 容：緊急事態宣言延長に伴う公共施設の使用休止の
対応について

全 員 協 議 会

実施日：5月7日

○緊急事態宣言延長に伴う公共施設の使用休止の対応について

休止対象施設、休止期間、休止対象外施設と、小・中学校・義務教育学校の分散登校の予定について説明を受けた。

【質疑】

問 こども園の感染防止は、どういう対応をするのか。

答 自宅での検温、登園時に玄関で必ず親が検温をしてチェックしている。

内 容：町民と議会の懇談会について
議場における新型コロナウイルス感染症拡大
防止対策について

議 会 改 革 ・ 活 性
化 特 別 委 員 会

実施日：7月7日

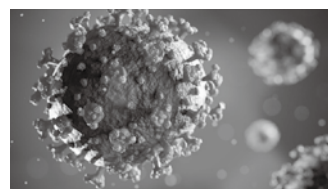
●町民と議会の懇談会について

町民と議会の懇談会は、10月開催の方向で調整することとし、広報広聴分科会で取り進め方を協議する。



●議場における新型コロナウイルス
感染症拡大防止対策について

今だ終息しない新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、今後の議場内での対策を協議した。





広報の目



▲東山に咲くノビネチドリ



▲坂の丘に咲くワタスゲ

◀パシクル沼周辺に咲くエゾカンゾウ

6月中旬が見頃の「ワタスゲ」「エゾカンゾウ」の群生。みごとでした。そして、ひっそりと目立たずに咲く可憐な花々。このような湿原は町の宝です。ぜひ知っていただければと思います。足を運ばれてはいかがでしょうか。 撮影：鎌田民子広報広聴調査特別委員会委員長



あとがき

新型コロナウイルス感染防止のため休校していた町内の小学校、中学校、義務教育学校が、やっと6月1日から通常登校となりました。朝の安全見守りで交差点に立っていると、元気な明るい笑顔と元気な挨拶で、登校する生徒に私も元気をもらい、子どもたちに負けないぞ!と、このままコロナウイルスが終息する事を願っています。

さて、令和2年第2回定例会も6月9日、10日2日間でコロナ対策などを盛り込んだ一般会計補正予算や条例制定など25議案を可決しました。

議員2年目の私ですが、広報広聴調査特別委員会委員として、町民の皆様に読んで頂ける議会だよりを発信していきますのでよろしくお願ひ致します。(坂本)



今号の表紙



今号の表紙は、平成21年に始まった「ふるさとブックスタート」で、子どもの読書活動を推進するため、生後4ヶ月のお子さんにプレゼントする絵本を入れるバッグを制作しているボランティアの皆さんです。